

特色ある学校

「地域と学ぶ」環境教育

富山県立魚津工業高等学校長 松井 裕敏

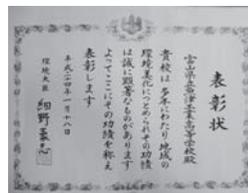


写真1 環境大臣表彰

1. はじめに

本校は、富山県東端に位置する新川地区で唯一の工業科単独校で、機械科2学級、電気科1学級、情報環境科1学級の1学年4学級である。情報環境科はコース制をとっており、2年次から電子機械コースと化学工業コースに分かれて学習する。生徒は富山市以東の全地域より通学し、地域産業を担う工業人を目指して学業に励んでいる。

昭和37年4月、全日制機械科、電気科、工業化学科、化学工学科の4学科が創設され、昭和39年3月、近代的施設・設備を備えた校舎が竣工した。その後も時代の要求に即応できるよう施設・設備の拡充が続けられ、平成17年3月、「光庭（多くの光を取り込む中央廊下）」をそなえる管理・教室棟が完成し、平成24年10月に創校50周年記念式典と電気科新実習棟の竣工式を挙行了した。

生徒は、地域の気質を反映して、純朴で人懐っこく、物事に対して真剣であり、資格取得や部活動にしっかり取り組んでいる。教職員一丸となり、本校の学校課題である「活力ある生徒の育成」を目指して数多くの取組を進めている。

2. 環境大臣表彰受賞

生徒会を中心に、長年にわたり学校全体で取り組んでいる校舎周辺の通学路や駅舎の清掃美化活動、および「環境教育推進委員会（当初は地球環境を考える委員会として発足）」が平成9年から取り組んできた「環境情報新聞」の発行や「環境シンポジウム」の開催など、地域の環境美化や環境保全等に対する取組が評価され、

平成24年1月に「平成23年度環境大臣表彰（地域環境美化功績者表彰）」を受賞した。

3. 環境教育への取組の経緯

- (1) 環境に対する社会の関心が高まりつつある中、平成6年度より化学工業科に環境工学類型を導入し、環境教育に対する取組を開始した。
- (2) 地球環境を考える委員会（現在は環境教育推進委員会）設置

平成9年度から「富山県高等学校ユニーク活動委託事業（富山県）」の一環として、校内に「地球環境を考える委員会」を設置し、平成11年度より以下の活動を行うとともに、地域への啓蒙活動を進めた。

- ① 身近な河川の水質調査や雨水のpH、大気中のNOx等の測定



写真2 河川の水質調査

- ② ケナフの栽培・リサイクル・新エネルギー・雨水浄化装置等の研究
- ③ 海岸や河原のごみ拾い等の地域への奉仕活動とごみの種類や海岸・河原の汚染状況調査およびごみの持ち帰りや不法投棄禁止の呼び掛け
- ④ 環境情報新聞発行
- ⑤ シンポジウム開催
- ⑥ 各種交流会・フェア等に参加してネットワ



写真3 片貝川河口海岸清掃

ークを拡大

⑦ ホームページ作成

4. 環境教育の主な取組

(1) 環境情報新聞の発行

平成9年9月、環境教育の取組や活動をまとめた「環境情報新聞」第1号（カラー写真入り100部）を発行した。以来、県や市町村、関係高等学校、出身中学校、関係団体へ情報を発信し続けており、平成24年9月には第39号を発行するに至った。

(2) シンポジウム「とやまの環境を考える～今、わたしたちにできること～」の開催

地域内の環境関係の行政担当者・有識者やボランティアグループの活動メンバーを招いて、本校生徒・地域の中高生や一般県民を交えたシンポジウムを平成10年から毎年開催している。第1回および今年の第15回シンポジウムの実施内容は次の通り。

① 第1回 '98シンポジウム

- ・期日 平成10年12月12日
- ・基調講演 「魚津の海岸生物について」
講師 魚津水族館飼育研究係長
理学博士 加野 康男 様

・参加者 地球環境を考える委員会、魚津市立東部中学校、魚津市立西部中学校、黒部市立鷹施中学校、県立魚津高校、県立新川女子高校

・情報交換

② 第15回 '12シンポジウム

- ・期日 平成24年7月25日

・基調講演「動物たちとどう向き合うかー現状把握としくみ作り」

講師 富山県立八尾高等学校

教頭 赤座 久明 様

・活動紹介「田中小学校のホタルの取組」

滑川市立田中小学校6年生

「電気工学部の取組」

魚津工業高校電気工学部

「環境科学部の活動紹介」

魚津工業高校環境科学部

・質疑応答



写真4 環境シンポジウム

(3) 環境に関するイベントへの参加

環境科学部が、環境保全の啓蒙イベントである「アースディとやま（アースディとやま実行委員会）」や「とやま環境フェア（とやま環境フェア開催委員会）」、「魚津市環境フェスティバル（魚津市環境フェスティバル実行委員会）」に参加し、来場者に対して「ペットボトルを用いた廃油石鹸の製造体験」を提供している。



写真5 魚津市環境フェスティバル

(4) 県のホームページ「とやま名水ナビ」開設

平成22年3月から、富山県生活環境文化部環境保全課が企画した水環境保全活動等紹介ホーム

ページ「とやま名水ナビ」に本校の取組が掲載された。

(5) バーチャル・エコクラブ事業

新川地区が、平成12年度の文部省、郵政省による全国先進的教育ネットワークモデル地域に選出され、これを機会に「新川教育ネットワーク」を利用したテレビ会議を開催した。

「ケナフ情報」テレビ会議

- ・日時 平成12年6月30日15:30～
- ・参加校 魚津市立本江小学校6年生32人
魚津市立経田小学校エコクラブ員8人
魚津工業高校地球環境を考える委員会生徒2人
- ・本江小学校6年生が5月から取り組んできたケナフ栽培について発表し、疑問や意見を述べ、経田小学校と本校を交えて情報交換を行い、環境問題について意識を高めた。

(6) 環境教育教科書作成

「平成10・11年度高等学校テーマ学習教材づくり支援事業（富山県）」を活用して、環境教育教科書を作成した。

- ①テーマ 「地域から学ぶ環境教育」
- ②ねらい 自分たちの身近な地域でも、環境汚染や環境破壊が広がっていることを知らせるとともに、生徒一人ひとりに問題意識を持たせ、環境保全について考えさせる。

③ 手作り教科書の内容

[第1章] 環境と人間

[第2章] 地球環境とエネルギー

[第3章] 富山の環境とその対策

[第4章] いまわたしたちにできること

(7) ロシア沿海州の中高生との環境学習交流

富山ロシア協会ならびに富山県知事政策室国際・日本海政策課と共同で、ロシア沿海地方のエコクラブ訪問団と環境への取組について互いに紹介し、交流を行った。

- ①日時 平成19年1月11日15:30～
- ②場所 魚津工業高校



写真6 手作りの教科書

- ③訪問団 42名（4つのクラブ）

④交流内容

- ・挨拶、紹介
- ・魚津工業高校活動説明
- ・ロシア側4つのクラブ活動説明
- ・民族舞踏交流、実技体験（紙すき体験）



写真7 実技体験（紙すき体験）

(8) 授業での取組

- ①1年工業技術基礎（3単位）
 - ・リサイクル石けんの製造（原料は廃食油）
 - ②2年実習（6単位）
 - ・環境調査（近隣の河川の水質調査および調査結果のプレゼン作成）
 - ③3年実習（3単位）、課題研究（3単位）
 - ・新エネルギー（太陽光パネルの発電特性、風力発電機の製作）
 - ④2・3年地球環境化学（各2単位）
- (9) 部活動での取組
- ①近隣の河川の水質調査（パックテストおよび水質チェッカーによる）

- ② ザルツマン法による地域の大气中の窒素酸化物の測定
- ③ アースデイとやま出展（廃食油を用いたりサイクル石鹼の製造体験）
- ④ 魚津市環境フェア出展（同上）
- ⑤ とやま環境フェア出展（同上）
- ⑥ 本校主催の環境シンポジウムで活動報告
- ⑦ 北東アジア環境活動体験プログラム参加

日本、中国、韓国、ロシア、モンゴルの中高校生が参加した「北東アジア環境活動体験プログラム」が、平成22年8月に中国大連市で開催され、県内高校を代表して本校の取り組みを紹介した。

10) 生徒会の取組

県内の高校生があいさつ運動等に取り組む「さわやか運動（毎年6月と10月の2回実施）」に合わせて、生徒会を中心に通学路や富山地方鉄道経田駅でボランティア清掃を行い、地域美化に努めている。

5. 受賞歴等

- ・平成10年 とやま環境賞（富山・水・文化の財団）
- ・平成10年 青少年ボランティア賞（国際ソロプチミスト富山-東）
- ・平成16年 富山県環境功労賞（富山県 長年にわたり地域の環境美化に努めた功績に対して）
- ・平成19年 富山県環境保健衛生連合会表彰（(社)富山県環境保健衛生連合会 多年にわたり地域の環境保全と保健衛生の向上に寄与したことに對して）
- ・平成19年 環境とやま県民会議表彰（とやま環境財団ほか 多年にわたり地球温暖化対策の推進に寄与したことに對して）
- ・平成20年 第15回コカ・コーラ環境教育賞（コカ・コーラ教育・環境財団）
- ・平成21年 新川地域発展賞青少年育成賞

（新川経済倶楽部）

- ・平成24年 平成23年度環境大臣表彰（地域環境美化功績者表彰）

6. 課題

平成9年度に設置した「地球環境を考える委員会」は、化学工業科を中心に活動してきた。しかし、学科改編に伴い、化学工業科は平成18年度募集停止となり、現在は、情報環境科の化学工業コースが中心となって活動している。今後、他科も加わり全校をあげて取り組んでいきたいと考えている。限られた予算や教育環境の中で、どのように環境教育を継続し発展させていくかについても検討していきたい。

7. おわりに

本校が、平成17年度から実施している1年生全員のインターンシップやボランティア活動、ものづくり教室を通じた小・中学生との交流、イベント出展による地域との連携・協力などの幅広いキャリア教育への取組が評価され、平成24年1月に「平成23年度キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰」を受賞した。

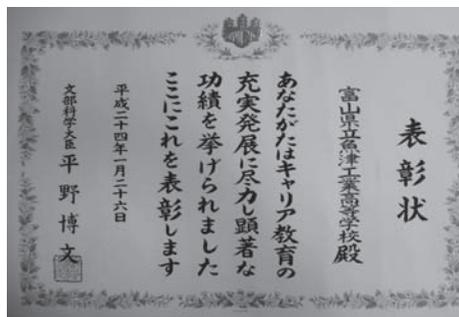


写真8 文部科学大臣表彰

創校50周年の記念すべきこの時期に2つの大いなる受賞を受賞できたことは大きな喜びである。

50年の伝統を背負い、校歌の一節にもある「工学の道にいそしむ」新しい一歩が始まる。

今回は、これまでの本校の環境教育に対する取組を紹介したが、本稿をご覧いただいた皆様からご意見をいただければ幸いである。